

## 2-1. 評価の基本的な考え方

- 評価対象は、きやまコミュニティバス運行路線（けやき台線・高島線・中心部巡回線・園部線・宮浦線・本桜線・長野線）
- 評価の期間は、令和2年10月～令和3年9月の1年間とする。
- 評価の視点は「利用者数」の目標達成度とする。

### 自己評価結果等を整理

評価結果 A・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成した

B・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった

C・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

	目標値	評価方法	R3年度実績値	自己評価
評価1 「利用者数」	1日平均利用者数 令和3年度 91人/日 令和4年度 95人/日 令和5年度 100人/日	実績	1日平均利用者数 85人	B
評価2 「財政負担の状況」	国庫補助金を含まない場合の 1回当たりの運行コスト 794円以下	実績	1回当たりの運行コスト 846円	B

評価1～2の総合評価	B
------------	---